

Tsukuba D&I ▶▶ #01 ダイバーシティって何？

ダイバーシティ推進室では、「性別にかかわらず自分らしく生きられる社会」の実現を目指し、さまざまな取り組みを進めています。このコーナーでダイバーシティに関するトピックを連載でご紹介していきます。

氷山の絵から見る「違い」

私たちはさまざまな「違い」を抱えて生きています。氷山の絵から水面に現れるほんの一部の目に見える「違い」と、水中にある見えない「違い」を一緒に考えてみましょう。

目に見える違い

(外見から認識しやすいもの)

年齢
見た目
障害

性自認・性的指向

家庭環境

文化

経験

価値観

目に見えない違い

(外見から認識しづらいもの)

出身地

「ダイバーシティ」って何？

「ダイバーシティ」とは「多様性」を指します。性別、国籍、年齢、障害の有無など、さまざまな「違い」がある人たちがお互いの「違い」を認め合い、尊重することが重要です。

「違い」にはどんなものがあるの？

右のイラストのように、誰もが「目に見える（外見から認識しやすい）違い」と「目に見えない（外見から認識しづらい）違い」を持っています。「違い」はその人の個性を形成する重要なものです。

なぜダイバーシティが重要なのか？

誰もがさまざまな「違い」を理由に不平等な扱いや差別を受けず、自分らしく生きられる社会を実現させるためです。

私たちがダイバーシティのためにできることは？

特定の「違い」を持った当事者（LGBTQ+、外国人、障害者など）だけでなく、全ての人がさまざまな「違い」を持った存在であることに気付くことが大切です。

ダイバーシティ&インクルージョンって良く聞く言葉だけど、どんな意味があるの？

「インクルージョン」は「包摂」などを意味し、ダイバーシティとセットで使われることが多い言葉です。さまざまな「違い」を認め合うだけでなく、すべての人が地域社会の中でつながりを感じながら自分らしくいられることが大切です。

ダイバーシティ推進室の詳細は市ホームページをご覧ください▶

